

横浜開港150周年 オリジナル切手 PART 1 (80円郵便切手)

〈デザインについて〉

開港150周年の2007年ロゴマークのテーマ「“港・ひと・外国”へ」をモチーフにしています。イラストは、横浜市在住の船と港の絵描き・柳原良平氏が制作・発表してきた作品で、これまで横浜に寄港したクイーンエリザベスⅡ、飛鳥、氷川丸などの船舶が横浜の風景と共に描かれています。デザイン構成は、イサオマツノ氏ががけています。今後シリーズ化を予定していますが、今回は第1弾として横浜港の移り変わりもわかる配慮がされています。

〈横浜開港150周年について〉

1853年久里浜に上陸した米海軍ペリー提督は「来年また来る」と言い残して日本をさりました。翌1854年3月8日(嘉永7年陰暦2月8日)、再来航したペリー提督の江戸上陸を嫌った幕府が代替地を選んだのが、当時神奈川の宿場付近にあった“横浜”を指定したとされています。

そして、1858年(安政5年)日米通商条約の締結に基づき、翌年(1859年)横浜港が開港しました。

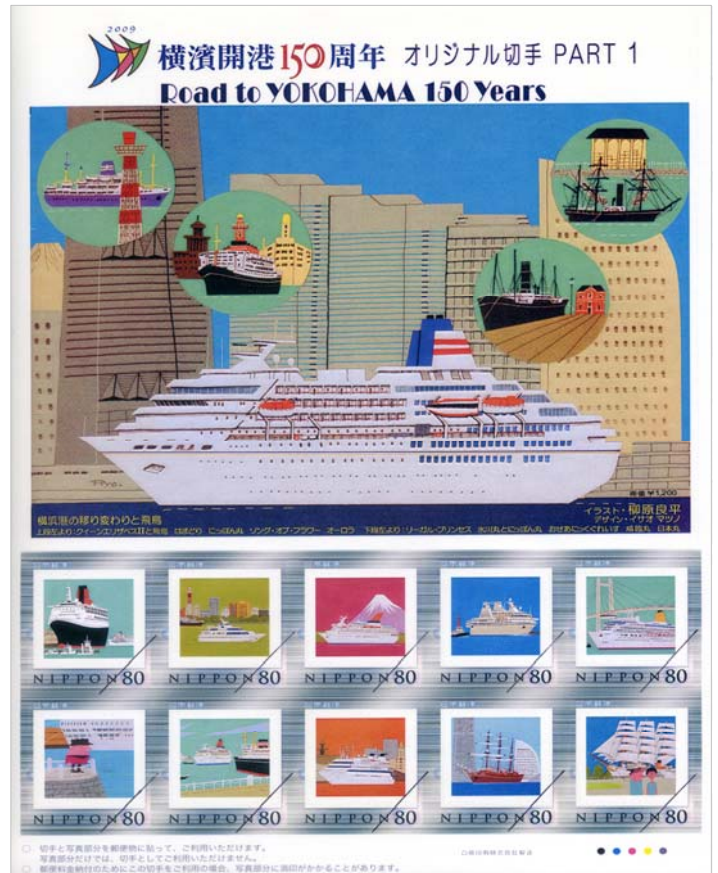
2009年に開港より150周年を迎えるにあたり、横浜市では平成17年から「チャンスあふれるまち 横浜」を創造することを目指し、取り組みをしています。「横浜」が持つ魅力、活力、未来像を直接触れることのできる、官と民が協働で行う事業として、横浜市民、神奈川県民はもとより、国内多くの来街者の皆様を対象とした、広域での事業展開を行っています。

〈柳原良平氏について〉

昭和6年8月東京生まれ、横浜市在住 船と港の絵描き

1954年京都市立美術大学を卒業。子供の頃より港を訪れては船を眺め、そして描き続けていた。大学卒業後、壽屋(現サントリー)に入社。同宣伝部では、開高健氏、山口瞳氏とともに「トリスウイスキー」の commercials を制作、アンクルトリスのキャラクターは一世を風靡した。

1977年横浜文化賞、1987年運輸大臣賞、1990年運輸省交通文化賞 受賞。



<1>



<2>



<3>



<4>



<5>



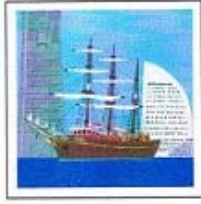
<6>



<7>



<8>



<9>



<10>

種類 80円オリジナルフレーム切手
台紙意匠 横浜港の移り変わりと飛鳥
切手意匠 (1)クイーンエリザベスⅡと飛鳥 (2)はまどり
(3)にっぽん丸 (4)ソング・オブ・フラワー (5)オーロラ
(6)リーガル・プリンセス (7)氷川丸とにっぽん丸
(8)おせあにつくぐれいす (9)咸臨丸 (10)日本丸

シート構成 10枚
販売価格 1,200円
発行日 平成19(2007)年6月1日(金)
イラスト 柳原良平氏